

# まちのわだい

## 有馬均さんが

### 交通安全功労者表彰受賞

～スクールガードリーダーとして  
児童らの安全見守り16年～

平成17年から16年間、スクールガードリーダーとして児童らの通学時の見守り等を行う有馬均さん（79）が、長年にわたり交通安全に献身的に寄与された個人等に贈られる鳥取県交通安全功労者表彰を受賞しました。

第53回鳥取県交通安全県民大会での表彰式がコロナで中止になったため、箕浦昭彦教育長から11月10日（水）、感謝状を伝達しました。

有馬さんはスクールガードリーダーとして、登下校時に伯耆橋の交差点付近で旗を持ち声掛けなどをして、子どもたちが事故・犯罪に遭わないよう見守りを行ってきました。

「週の3分の2は立ち番をしています」という有馬さんは、「警察官として、長年交通安全の啓発に努めてきました。その知識・経験を少しでもお返しできたらという気持ちでやっています。子どもたちが元気に登下校できることを願っています」と話しました。



有馬さんは16年間、子どもたちが元気に登下校できるようにと願い活動が続けている



表彰を受け「おもはゆい気持ちです」と話す有馬均さん

## 人権尊重のまちづくりを目指して

～伯耆町人権フォーラム2021～

「コロナ禍の中でも 人権の学びを続けよう」というテーマで、人権フォーラム2021（第16回伯耆町人権・同和問題実践研究交流会）を12月5日（日）、鬼の館ホールで開催しました。昨年はコロナにより中止になりましたが、感染対策を行い開催することができました。

フォーラムでは、人権啓発標語入選者の表彰や中学生による人権弁論、令和3年5月に行った町民人権意識調査の結果報告などを行いました。

その後、全国各地で教育・子育て・人権問題に関する講演や一人芝居を行う福岡県福岡市在住の福永宅司さんが、夜間中学校に通う様々な境遇の生徒たちと教師の交流を描いた山田洋次監督の映画『学校』を、一人芝居で演じました。

子どもから大人まで幅広い世代の参加者が、福永さんの感動的な芝居を鑑賞し、差別のない明るく住みよいまちづくりの大切さを共有しました。



語りかける福永宅司さん



人権啓発標語入選者の皆さん

## ドライバーに安全運転呼びかけ

～相次ぐ死亡事故受け、4市町村と警察が街頭啓発～

県内で11月末から交通死亡事故が連続して発生していることを受け、悲惨な死亡事故を防ぐために、ドライバーに安全運転を呼びかける街頭啓発が12月6日（月）、国道181号の米子市諏訪西交差点で行われました。

11月28日（日）から5日間で4件の死亡事故が発生し、県内で「交通死亡事故多発警報」が発令されました。このうち3件が黒坂・米子警察署管内で発生したことから、米子市・日吉津村・伯耆町・南部町の交通安全協会の交通指導員らとともに街頭に立ち、ドライバーにチラシを手渡ししながら、スピードを落とし、早めにライトを点灯することなど安全運転を呼びかけました。

参加した黒坂警察署員は、「これから年末に向けて人の移動が増え、交通事故が増えます。事故をなくし、皆さんに良い年の瀬を迎えてもらいたいです」と話しました。



「スピードを落とし、早めのライト点灯を」とドライバーへ呼びかける交通指導員